

埼玉県生協連 2019 年度第 2 回活動委員会

日時	2019 年 10 月 17 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分
場所	埼玉県生協連会議室
出欠	別紙参照
次第	1.出欠報告 (事務局)

■議題

会長あいさつ

I. 話したいこと

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 1. 上期の各生協の取り組みの交流(9-10 月活動報告書含む) | 当日資料 |
| 2. ヘルスチャレンジ 2019 の取り組み状況交流 | 当日資料 |
| 3. 12/12 組合員活動交流会について | 事前資料 P 1 |
| 4. 埼玉県生協連が取り組む年間スケジュール | 事前資料 P 2- 6 |

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

III. 確認したいこと

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 1/17 助け合い活動交流会について | 当日資料 |
| 2. 2/12JA 女性組織協議会との早春交流会 | 事前資料 P 7 |
| 3. 2 月～3 月に行う協同組合連携に関する学習会 | 当日資料 |
| 4. 11/16-17 彩の国ドリームフェスタの生協クイズについて | 当日資料 |
| 5. NPO 法人埼玉消費者被害をなくす会「めやすばこ」について | 事前資料 P 8- 9 |

IV. 報告したいこと

- | | |
|--|-------------|
| 1. 業務報告 | |
| (1) 埼玉県生協連 9 月度のまとめと今後の課題 | 事前資料 P10-15 |
| 2. 個別報告 | |
| (1) 九都県市防災訓練(8/31) 報告 | 事前資料 P16 |
| (2) 2019 コヨット in 埼玉(9/14-15) 報告 | 事前資料 P17-20 |
| (3) 第 55 回埼玉県消費者大会(10/10) 報告 | 当日資料 |
| (4) 2019 年度「体験稲刈り & 田んぼの生きもの調査」(9/14) 報告 | 事前資料 P21 |
| (5) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会(9/4) 報告 | 事前資料 P22 |
| (6) 2019 さよなら原発埼玉県民集会報告 | 当日資料 |
| (7) 2019 年度県内消費者団体全体研修会報告 | 事前資料 P23 |
| (8) 消費者契約法改正に向けた専門技術的側面の研究会報告書に関する意見提出報告 | 当日資料 |
| (9) 3 都県連共催「福祉事業公開学習会」(10/11) 報告 | 当日資料 |

V. 報告したいこと②文書報告

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. 埼玉県生協連 2019 年度第 1 回活動委員会(8/22) 報告 | 事前資料 P24 |
| 2. 埼玉県生協連 2019 年度第 2 回理事会(9/12) 報告 | 事前資料 P25 |
| 3. 活動日誌と予定 | 当日資料 |

次回の活動委員会は、12 月 12 日 14 時 30 分～ 市民会館うらわ 7 階会議室です

2019 年度組合員活動交流会（案）

2019 年 9 月 3 日 埼玉県生協連
加筆修正

1. 報告の趣旨

- (1) 埼玉県生協連では、くらしに関わる様々な社会的課題について、生協として関わることの必要性、重要性を提起し、会員生協の取り組みにつなげることのできる組合員・役職員を対象とした学習会をおこなっています。
- (2) 昨年の組合員活動交流会では、NPO 法人ハンズオン埼玉の西川正さんを講師にお迎えし、地域コミュニティづくりについてさまざまな事例を交えてお話しいただきました。地域の住民が主体者として関わることで、つながりができ、地域の課題解決をすすめていけることを学びました。
- (3) 今回の組合員活動交流会では、組合員活動にかかわるみなさんがかかわる「楽しい会議のすすめ方」と「共通認識の作り方」「合意形成のプロセス」について、ワークショップ形式で学びます。

2. 実施内容

日時	2019 年 12 月 12 日（木）10 時 30 分～14 時 30 分
会場	市民会館うらわ 705・706 会議室
目的	①活動をすすめるうえでのコミュニケーションスキルアップをはかります。 ②各会員生協での組合員活動の相互理解を深める場とします。
内容	①楽しい会議のすすめ方、共通認識の作り方、合意形成のプロセスについて、ワークショップ形式で学びます。 *講師とすすめ方は調整中 ②会員生協の活動交流(テーマ：参加を広げるための工夫・悩み・・・ 実際の事例をもとに交流できるよう関連する資料を用意)
対象	組合員理事・組合員活動に地域で関わり、運営・サポートしている方 ※具体的には各生協で次のような方々をイメージしています 各生協の組合員理事・組織担当役職員 コープみらい→ブロック正副委員長 パルシステム埼玉→委員長会議メンバー 生活クラブ生協→ブロック会議メンバー 医療生協さいたま→組合員活動委員会メンバー 大学生協→学生委員 など なお、午後の交流はグループに分かれておこないますので、各生協 5～6 人以上参加いただけるよう調整ください。(コープみらい以外)
定員	80 人
集約	11 月 29 日（金）締切でお願いします。 埼玉県生協連 清水桂までご連絡ください。

2019年度埼玉県生活協同組合連合会、埼玉県消費者団体連絡会、特定非営利法人埼玉消費者被害をなくす会関連

学習会・交流会等日程およびテーマ（案）一覧

網掛けは実施済

2019年10月5日現在 埼玉県生協連

月	日時	学習会・催事名	位置づけ・対象	テーマ	会場
6月	26日（水）19:00～21:00	さよなら原発埼玉県民集会 プレ学習会	主催：実行委員会 一般	地図から消される街 8年後 の福島避難者	浦和コミュニ ティセンター
7月	3日（水）10:30～13:00	第1回組合員学習会	主催：県連 組合員活動リーダー80人	子どもの貧困：シンポジウム 形式で生協・団体の事例報告	浦和コミュニ ティセンター 第13集会室
	12日（金）10:30～	第55回埼玉県消費者大会 プレ学習会	主催：実行委員会 消費者団体100人	憲法を学ぶ 弁護士 伊藤真さん	市民会館うら わ 705・706
	7/27（土）～29（月）	平和のための 埼玉の戦争展	主催：実行委員会 一般		浦和コルソ7F ホール
8月	27日（火）10:30分～15:00	県内消費者団体 全体研修会	主催：消団連 消費者団体100人	コミュニケーション力アップ 学習	埼玉会館ラウ ンジ
	28日（水）	消費者力アップ学習会	主催： 一般	「ギャップシユレスの時代！信 用格差が生まれる??」	浦和コミュニ ティセンター 第13集会室
		<u>適格消費者団体受託事業</u> 不当表示の見分け方講座	主催：埼玉県 一般	消費者力	4～5 会場
10月	5日（土）14:00～16:30	さよなら原発埼玉県民集会	主催：実行委員会 一般1000人	「忘れない、悲惨なフクシマ 事故」小出裕章さん	市民会館おお みや大ホール
	10日（木） 10:30～12:30	埼玉県消費者大会 記念講演	主催：実行委員会 消費者団体・一般1000人	「SDGsを自分ごと化して、暮 らしを見つめなおそう！」	埼玉会館大ホ ール

	13:30～15:30	同分科会	4テーマ	食、消費者課題、防災・減災、環境	小ホール、ラウンジ他
11月	21日(木) 13:30～15:30	埼玉県委託事業 役職員研修会	主催：埼玉県 会員生協役職員 60人	日本生協連の福祉政策＋2030 年ビジョン	浦和コミュニケーション 第13集会室
12月	2日(月)	消費者力アップ学習会 Vol.2	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般	ギャッシュレス決済と利用時の 注意点	浦和コミュニケーション 第13集会室
	12日(木) 10:30～14:30	埼玉県委託事業 組合員活動交流会	主催：県連 組合員活動リーダー100人	楽しい会議のすすめ方、共通 認識の作り方	市民会館うら わ 705・706
1月	17日(木) 10:30～14:30	埼玉県委託事業 助け合い活動交流会	主催：県連 助け合い活動のコーディネート リーダー、活動に関わる理 事・役職員等 60人	学習と活動交流で組み立てる 予定	浦和コミュニケーション 第15集会室
	20日(月) 23日(木)	県内消費者団体 地区別研修会	主催：消団連 消費者団体各 60人		川越 寄居
2月	7日(金) 10日(月)				鴻巣 春日部
		消費者力アップ学習会 Vol.3	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般	消費者力	未定
	12日(水) 10:30～14:00	JA 埼玉県女性組織協議会 との早春交流会	主催：協同組合間提携協 組合員活動リーダー25人	防災・減災学習、関連する各 団体の取り組み交流を予定	未定
3月	4日(水) 10:30～12:30	埼玉県委託事業 第2回組合員学習会	主催：埼玉県 組合員活動リーダー	子どもの未来アクション関連 の取り組み報告会 栗林知絵子さん	未定

随 時		適格消費者団体受託事業 消費者被害防止サポーター 養成講座	主催：埼玉消費者被害をな くす会 一般	消費者力	12 会場
5 月		協同組合連携関連 学習会	主催：未定 協同組合関係者〇人	JCA役員からの講演と活動 報告で組み立てる予定	未定

活動委員会報告・交流テーマ

4 月 4 日 (木)	埼玉県のごども貧困対策学習と会員生協の取 り組み交流				
5 月 30 日 (木)	会員生協の年間の学習会・研修会計画の交 流、県連計画との連関を考える				
8 月 22 日 (木)	新メンバー、アイスブレイク、				
10 月 17 日 (木)	上半期の活動まとめ報告と交流				
12 月 12 日 (木)					
2 月 14 日 (金)					
4 月 16 日 (木)					

課題・テーマ/四半期・月度	項目の概要	第1四半期				第2四半期			
		4月				5月			
1.機関運営	通常総会、理事会、監事会、活動委員会など	4/4 第5回活動委員会 4/11 第4回常務理事会 4/18 第5回理事会 4/18 役員選考委員会 4/19 第4回監事会	5/9 第5回常務理事会 5/16 第6回理事会 5/24 第5回監事会 5/30 第6回活動委員会	6/20 第7回理事会 6/20 第48回通常総会 6/20 第1回理事会	7/9 災害対策委員会(予定) 8/22 第1回活動委員会 8/29 第1回常務理事会	8月	9月	9/12 第2回理事会	
2.外部会議	日生協・中央地連など			6/14 日生協総会		7/9 中央地連組合員理事交流会 7/17・18 全国県連活動推進会議 7/23 中央地連推進委員会 7/26 組合員活動委員会 7/9 組合員学習会		9/24 中央地連推進委員会・県連活動推進会議 9/27 組合員活動委員会	
3.大切にする3つの視点と重点課題	① 埼玉県生協連主催の学習会、交流会など ② 復興支援・食・くらし全般・環境・福祉・子育てなどのテーマ ③ 各テーマ担当者による交流 ④ その他						8/31 九都県市防災訓練	9月14・15日コヨットin埼玉	
4.広報計画	広報紙発行、HPに開く事項など								
5.個別課題	県内消費者運動のサポート、消回連のあり方検討	4/23 消費者大会実行委員会	5/20 消費者大会実行委員会	6/18 消費者大会実行委員会	7/12 消費者大会プレ学習会 消費者大会実行委員会	8/21 消費者大会実行委員会 8/27 県内消費者団体全体研修会		9/19 消費者大会実行委員会	
6.個別課題	重点課題 ① 移住・農産物・平和・憲法 ② 子どもへの貧困や生活困窮者への支援 ③ 消費者被害防止の学習	4/25 ワードバンク埼玉総会				7/28 埼玉県県民福祉推進委員会 7/27-29 平和のための戦争歴史 (清和コロシアムホール)	8/4-9 ピースアクションヒロシマ・ナガサキ		
7.個別課題	県内消費者運動のサポート、消回連のあり方検討	4/10 埼玉消回連総会	5/10 埼玉消回連総会	6/13 埼玉消回連総会	7/11 埼玉消回連総会		8/1 埼玉消回連総会	9/11 埼玉消回連総会	
8.個別課題	県事業受託の運営	4/18 活動委員会 4/22 検討委員会(禁止・被害)	5/13 活動委員会 5/28 理事会 5/28 検討委員会(禁止・被害)	6/5 活動委員会 6/25 第16回総会 6/28 検討委員会(禁止・被害)	7/9 活動委員会 7/29 理事会 7/29 検討委員会(禁止・被害)	8/28 活動委員会 8/28 消費者力アップ学習会 8/29 検討委員会(禁止・被害)	9/13 活動委員会 9/26 理事会 9/26 検討委員会(禁止・被害)		

課題・テーマ・四半期・月度	項目の概要	第3四半期				第4四半期			
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1. 機関運営 通常総会、理事会、監事会、活動委員会など		10/17 第2回活動委員会 10/31 第2回災害対策委員会	11/14 第2回常務理事会 11/21 第3回常務理事会	12/12 第3回活動委員会 12/26 第3回常務理事会	1/16 第4回理事會 1/16 常務交換会	2/14 第4回活動委員会 2/27 第4回常務理事会	3/12 第5回理事會		
2. 外部会議 日生協・中央地連など		10/25 関東甲信越行政生協関係者連絡会	11/26 中央地連運営委員会・県連活動推進会議	12/3 組合員活動委員会	1/14・15 全国方針検討委員会 1/14 日生協実用交換会 1/28 中央地連運営委員会・県連活動推進会議		3/26 中央地連運営委員会・中央地連運営委員会 3/31 組合員活動委員会		
3. 大切にす る3つの規 点と重点課 題	① 埼玉県生協連主権の学習 会、交流会など ② 復興支援・食・くらし全般・ 環境・福祉・子育てなどのテ ーマ ③ その他	10/11 福祉事業公開学習会 (千葉・東京・埼玉都県連)	11/21 役員研修会 時間変更午後開催予定	12/5 福祉助け合い担当者交流会 12/12 組合員活動交流会 環境・子育てなどの各分野の担 当者交流会を計画	1/17 助け合い学習交流会 浦和コミュニティセンター 第15集會室		3/4 組合員学習会		
	社会への参 画 幅広い連携の形成	10/10 埼玉県消費生活大会	11/28 消費者大会実行委員会 (埼玉県との調整が必要位置き)		1/20、1/23 県内消費者団体地区別研修会	2/12 早春交流会(案) 2/7、2/10 県内消費者団体地区別研修会	3/〇埼玉新聞「生協特集」		
	重点課題 ① 核兵器廃絶・ 平和・憲法 ② 子どもの貧困 や生活困窮者 への支援 ③ 消費者被害防 止の学習	① ヒバクシヤ国際署名の推 進、県内での核兵器廃絶に 向けた取り組み ② NPT 再検討会議に向けた取 り組み ③ 日本国憲法を知る取り組み ④ 平和を考える取り組み ⑤ 子どもの未来アクション ⑥ 地域のソーシャルワークカ を強める取り組み ⑦ 消費者被害未然防止のため の学習など				2/28 日生協ピースアクションキ ックオフ			
4. 広報計画 広報誌発行、NPに 関わる事項など									
5. 個別課題 県内消費者運動の サポート、消団連 事務局機能の あり方検討		10/24 埼玉消団連・消団連 連絡会幹事会	11/20 埼玉消団連幹事会	12/19 埼玉消団連幹事会	1/10 埼玉消団連幹事会	2/21 埼玉消団連幹事会	3/18 埼玉消団連幹事会		
6. 個別課題 なくす会 事務局機能		10/8 活動委員会・活動 委員会、その他	11/11 活動委員会 11/22 理事会 11/22 検討委員会(差止・被害)	12/13 活動委員会 12/19 検討委員会(差止・被害)	1/9 活動委員会 1/24 理事会 1/24 検討委員会(差止・被害)	2/6 活動委員会 2/26 検討委員会(差止・被害)	3/10 活動委員会 3/24 理事会 3/24 検討委員会(差止・被害)		
7. 個別課題 サポート 事務局機能		県事業受託の運営 一ネット広告							
8. 個別課題 さよなら 原発		10/5 さよなら原発埼玉県民集會 (市民会館おおみや)							

第 25 回 JA 埼玉県女性組織協議会との早春交流会について（1 次案）

2019 年 9 月 12 日 埼玉県生協連

1. 提案の趣旨

- (1) JA 埼玉県女性組織協議会との交流会は、男女共同参画の推進、協同組合間交流を目的に、1996 年から実施され今年で第 25 回を迎えます。
- (2) 2015 年までは埼玉県生協ネットワーク協議会メンバーを中心に交流をおこなってきましたが、協議会の終了にあわせ埼玉県生協連で調整・企画をおこないます。
- (3) 早春交流会の実施にあたっては、隔年で JA と生協が幹事を受け持ちすすめています。今年度は、埼玉県生協連が幹事となり企画・運営をおこないます。

2. 実施概要

日時	2020 年 2 月 12 日（水）10 時 30 分～14 時 30 分（予定）
会場	未定
内容	午前：災害に備える 私たちのできる減災（仮） ～地域でのつながりが減災や消費者被害防止、子ども応援の力に～ * ワークショップ形式 災害時の地域での支え合いや日頃の災害に対する備えの必要性を学びます。 午後：午前の学習を踏まえて、地域での防災・減災にかかわる取り組み交流 地域での活動交流

3. 参加対象・人数

(1) 参加対象

JA 埼玉県女性組織協議会：

埼玉県生協連：組合員理事をはじめ、地域で組合員活動をサポートされている方

(2) 人数

- JA 埼玉県女性組織協議会：
- 埼玉県生協連からの参加は最大 25 人とします。
- 各生協より 1 人以上の参加をご検討ください。
- 各生協の参加人数については、参加の状況を確認しながら、各生協と事務局で調整をさせていただきます。

4. 参加集約

5. 各生協・参加者へのお願い・その他

- (1) 午後の活動報告では、各団体の活動を交流します。交流で配布できる機関紙・情報紙などありましたら〇部お持ちください。
- (2) 昼食については、埼玉県生協連で用意いたします。弁当の準備・昼食費用の負担は必要ありません。

消費者被害アンケート＊めやすばこ にご協力ください！

NPO法人埼玉消費者被害をなくす会
2019年10月
問合せ先電話：048-844-8972

- 年代を教えてください 10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上
➤ 男女別を教えてください 男性、女性

身の回りの製品事故についてお聞きします

【Q1】商品を取扱い説明書通りの使用方法で使っていて、怪我や事故になったこと・なりそうになったことはありますか。

①ない ②ある ⇒ あてはまる項目に○をつけてください（複数回答可）

車	電化製品	調理器具	文房具	遊具	玩具	介護用品	化粧品	美容製品	その他

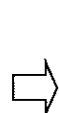
【Q2】怪我をした、怪我をしそうになったあるいは事故になった、事故になりそうになったことがある場合、状況を伝えましたか。あてはまる項目に○をつけてください

①伝えた



メーカーに伝えた	
消費生活センターなど	
SNSなどに投稿	
その他（ ）	

その事故はどのような状況でしたか？



②伝えていない





【Q3】普通に使用していたにも関わらず、怪我や事故を起こす可能性があることを、管轄省庁のホームページ以外でどのように消費者に対して知らせるべきだと思いますか。当てはまる項目すべてに○をつけてください。

メディア（新聞・テレビ）で報道する		購入者に個別に通知する	
販売した事業者のホームページに掲載する		販売店の店頭に表示する	
その他（ ）			

【Q4】製品リコールの情報を提供する告知方法のうち、見たことがあるものすべてに○を付けてください

消費者庁	
経済産業省	
埼玉県	
国民生活センター	
民間・個人のリコール情報サイト＊	
事業者のWebサイト	
新聞、ニュース、CM、店頭など	
SNSなどの投稿	

【Q5】以下の制度、マークのうちを知っているもの全てに○を付けてください

長期使用製品安全点検制度	
長期使用製品安全表示制度	
登録検査機関による 認証PSマーク（ひし形）	例 
自己適合確認の PSマーク（丸型）	例 
消費生活用製品の安全性を認証する任意の制度のSGマーク	
電機製品の安全のための 第三者認証制度のSマーク	

※個人、民間のリコール情報サイトの内容が正確ではない場合がありますのでご注意ください

次にキャッシュレス決済についてお聞きします。利用していない方もお答えください。

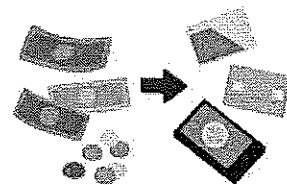
裏へ

キャッシュレス決済とは、現金以外で決済する次のような方法のことを指します。

【Q6】あなたはキャッシュレス決済（支払方法）を利用していますか。

当てはまるものすべての番号に○をつけてください（複数回答可）

- ① 交通カード（Suica・PASMO など）
- ② クレジットカード
- ③ 電子マネー（Edy・WAON・nanaco・iTunes ギフト・Amazon ギフト等）
- ④ QRコード決済（〇〇ペイ）
- ⑤ バンドルカード（Visa プリペイドバーチャルカード）
- ⑥ デビットカード
- ⑦ 磁気カード（クオカード・図書カードなど）やギフト券
- ⑧ どれも利用していない



【Q7】キャッシュレス決済の利用状況と、不安に思っていることについてお聞きします

（1）あなたの利用状況を教えてください

- ① QRコード決済も含め利用している
- ② QRコード決済以外のキャッシュレス決済を利用している
- ③ 全く利用していない

※QRコード決済：
〇〇ペイなど、スマートフォンでQRコードを読み取り決済する方法

（2）キャッシュレス決済に対して不安に思っていることはありますか。

該当するすべての番号に○を付けてください（複数回答可）

- ① 災害時に使用できないのではないかな
- ② スマホ・カードの紛失、盗難、スキミング
- ③ 個人情報の漏えい、不正利用防止などの企業側のセキュリティは大丈夫かな
- ④ 知らないうちに個人情報が集められ利用されるのではないかな（信用スコア化（格付け））
- ⑤ 返金はスムーズにされるのかな
- ⑥ 高齢・ITが苦手・知識不足
- ⑦ 暗証番号やパスワードを忘れそう
- ⑧ 残高不足で決済できなくなった場合
- ⑨ 金銭感覚のマヒなど口座管理
- ⑩ 利用履歴のチェック
- ⑪ どのようなトラブルがあるのかわからない
- ⑫ その他（ ）

【Q8】キャッシュレス決済を使用した際に困ったことに○をつけてください（複数回答可）

- ① 故障などでクレジットカード決済ができなかった
- ② カード番号情報に流出した、カードやスマホを落として不正利用された等被害にあった
- ③ 被害には遭わなかったが、カードやスマートフォンを落としてしまった
- ④ 暗証番号を忘れてログインできなかった
- ⑤ 残高不足や利用可能限度を超えて決済できなかった
- ⑥ スマートフォンを家などに忘れて決済できなかった
- ⑦ その他（ ）

【Q9】今後、あなたはキャッシュレス決済または現金をどのように利用しようと思いますか

主にキャッシュレス決済	主に現金	使い分ける	未定

ありがとう
ございました

埼玉県生協連 9 月度まとめと今後の課題

2019 年 10 月 9 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 第 2 回理事会

9 月 12 日、第 2 回理事会を開催し、活動委員会委員長、災害対策委員長、大学部会部会長の選任について議決しました。専務理事報告では、埼玉県生協連役職員研修会(埼玉県委託事業)案内、埼玉県生協連諸規定類の見直しの進め方などを報告。個別報告では医療生協さいたまと埼玉県生協連が共催で行うヘルスチャレンジ 2019 の進め方などを報告しました。

(2) 2019 コヨット in 埼玉

9 月 14 日(土)～15 日(日)の 2 日間、13 組 30 人の参加者が、ムーミンバレーパークや鉄道博物館を満喫し、親子での思い出をつくりました。また、埼玉県ユニセフ協会による「貿易ゲーム」、ボーイスカウト埼玉県連盟によるバス内での「ゲーム・クイズ」もあり、参加者からも多くの喜びの感想が寄せられました。※別紙①

2. 分野の取り組み状況

(1) 食とくらしに関する取り組み

- ① 第 55 回埼玉県消費者大会は、第 6 回実行委員会終了後、4 グループに分かれてマスコミ支局をまわり、告知や取材の依頼をよびかけました。
- ② 消費者被害防止サポーター養成講座は 9 月 6 日上尾市、9 月 10 日三芳町、9 月 19 日パルシステム埼玉、9 月 25 日美里町、9 月 26 日加須市の 5 会場で開催し 118 人が受講。91 人がサポーターに登録し、県内全体で 811 人になりました。※別紙②⇒確認
- ③ 適格消費者団体の取り組み(差止および被害回復)では、現在 1 件の訴訟が継続中です。書面による差止請求 2 件(累計 2 件)、申入れ 0 件(5 件)、お問合せ対応は 0 件(18 件)、検討中 16 件でした。被害回復の取り組みは、申入れ 0 件(1 件)、お問合せ 0 件(0 件)、検討中 4 件でした。

差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第 9 回期日が、10 月 30 日(水) 16 時 30 分 さいたま地裁で行われます。
------------	-----------	--

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ⇒申入れ⇒書面による差止請求(41 条書面)⇒訴訟

- ④ 消費者庁による埼玉消費者被害をなくす会への現地定例調査が、9 月 20 日(金)に実施され、4 つの改善事項を指摘されましたが、速やかに改善しました。※別紙③
- ⑤ 第 27 回適格消費者団体連絡協議会が 9 月 7 日・8 日の二日間、国民生活センター(東京)にて開催されました。全国の適格消費者団体 32 団体(適格消費者団体をめざす団体 11 含む)、消費者庁等が参加し、差止請求・被害回復訴訟の事例交流等をおこないました。
- ⑥ 10 月 5 日開催の「さよなら原発埼玉県民集会」に向けて、会場との打合せ、当日配布パンフレットなどの作成・配布・配信を行いました。

(2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 9 月 4 日、第 12 回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会が行われました。今回の連絡会では前回に引き続き、ヒバクシャ国際署名を県内で広げるための話し合いが行われました。その中で、京都府連絡会での「ヒバクシャと会えるカフェ(会いに行って被爆体験を聞ける場)」を参考に、埼玉県でも実施できないか次回までに検討、具体化することになりました。

- ② ヒパクシャ国際署名は、10月に国連第1委員会委員長に届けるため、全国連絡会が9月20日時点の手元署名数を確認しました。その結果、累計で1000万を超えて、1051万7872人分となりました。9月30日に記者会見を行いました。

(3) 広報・コミュニケーション

- ① 2019 コヨット in 埼玉の報告と画像を埼玉新聞社に提供し掲載されました。
② ホームページの会員ページの作成を進めました。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 10月25日に日本生協連中央地連が行う2019年度 関東甲信越行政生協関係者連絡会について、埼玉県消費生活課に参加を依頼しました。当日は埼玉県より1人が参加予定です。

(2) 埼玉消団連

- ① 「市町村における消費生活関連事業調査」については、集約が遅れていることから消費者大会での配布をやめ、消団連幹事会協議を経て、11月28日消費者大会実行委員会に完成版を配布する扱いとしました。
② 埼玉県環境大賞審査員に事務局長を選任しました。

(3) 諸団体

- ① 9月24日、JA埼玉県中央会と今年度の協同組合間連携の進め方について打合せの場を持ちました。今年度よりJA埼玉県中央会の担当部局が地域振興部になりました。
② 9月27日、JA組合員の要望に応え担い手を育成することを目的としたTAC(タック)パワーアップ埼玉県大会表彰審査会があり、埼玉県知事賞を選考しました。
③ 9月17日埼玉労福協による埼玉県知事要請に参加し、埼玉県の施策における生協の位置づけを高めていただくよう要望しました。なお、10月24日埼玉労福協と埼玉県との懇談会に参加します。
④ 9月18日フードバンク埼玉が受け入れた跡見学園女子大学の学外実習で、埼玉の生協のフードバンクやフードドライブの取り組みを説明しました。

4. 今後の課題

- 10月17日に行う第2回活動委員会、11月21日に行う第3回理事会の準備を進めます。また、大学部会を開催するための調整を進めます。
- 11月29日に実施される埼玉県の生協検査に向けて、提出書類作成など準備を進めます。
- 12月議会中に行う県議会会派懇談の実に向け、県議会各会派との調整を進めます。
- 2019年1月16日に実施する2019年賀詞交換会に向けた調整を進めます。
- 10月31日開催の第2回災害対策委員会に向けて、埼玉県防災課と内容について調整します。
- 消費者庁が実施する「消費者契約法改正に向けた専門技術的側面の研究会報告書において提案されている考え方に関する意見募集(パブコメ)」に県連としての意見を提出します。
- 埼玉県消費者大会(10月10日)の広報・宣伝と参加集約、本冊子作成、分科会・記念講演等準備と、大会終了後の報告冊子の作成および埼玉県への要請書に基づく懇談会(11月28日)の準備を進めます。なお、2020年度の大会日程は、2020年10月16日(金)・埼玉会館で確定しました。
- 「2019年度・市町村における消費生活関連事業調査」報告書を作成します。

- 適格消費者団体が埼玉県から受託している「消費者被害防止サポーター活動」と「高齢者見守り促進」について、進んでいる市町村事例の見える化した「事例集」を作成し、サポーターや市町村、生協・消費者団体などとの共有をはかり、活動促進に役立てます。

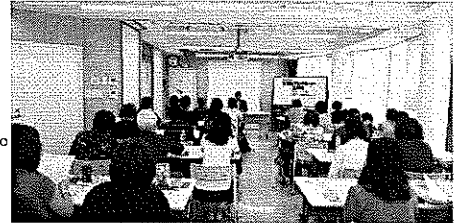
2019年9月30日

埼玉消費者被害をなくす会 青木和彦

1.消費者被害防止サポーター活動推進事業(サポーター登録累計811人)**(1)消費者被害防止サポーター養成講座**

サポーター養成講座は9月6日上尾市、9月10日三芳町、9月19日パルシステム埼玉、9月25日美里町、9月26日加須市の5会場で開催し118人が受講。91人がサポーターに登録しました。

また、県内でサポーターの配置がゼロであった羽生市、美里町にサポーター登録され、羽生市7人、美里町11人の配置になりました。

**(2)福祉見守り担当者講座**

福祉見守り担当者講座は、10月23日上尾市、同・宮代町、10月29日戸田市の日程・会場が確定し、介護認定の調査員や消費者安全確保地域協議会の構成メンバーを対象に、身体・生命の見守りに加え、消費者被害の未然防止や早期発見を見守りの視点に加えていただくことを目的に開催します。

(3)フォローアップ研修・交流会、全体研修会・全体交流会

10月25日からの第2回サポーターフォローアップ研修と交流会を「熊谷会場」「東松山会場」「さいたま会場」「越谷会場」「春日部会場」「川越会場」「飯能会場」の7会場で開催することを、サポーター全員にご案内しました。

フォローアップ研修テーマは「最新の消費者被害の手口を知ろう～消費生活センターへつなごう」とし、最新の手口を知り消費生活センターにつなぐことの大切さを学んでいただく内容にしました。

また第2回交流会では第1回に続き、市・町の消費行政担当職員にも参加を呼びかけ、サポーターとの交流を通して連携した活動が広がること、サポーター同士の仲間づくりや啓発活動のきっかけづくり、スキルアップにつながることをめざして開催する予定です。

2.高齢者等見守り促進事業(訪問計画県内63市町村／9月30日までに15市・10町を訪問)

9月6日上尾市、12日川口市を訪問し、消費者被害サポーターの養成や連携、消費者安全確保協議会について状況把握と提案を行いました。

3.インターネット適正広告推進事業**(1)啓発事業および監視事業**

インターネット適正広告推進事業は、景品表示法に関する啓発講座を9月6日越谷会場、14日 With You さいたま会場、18日川越会場で開催し、計画した4会場での講座が終了しました。今年度は4会場で45人の受講となり、計画100人を大きく下回りました。一方、受講された方の情報提供ボランティアは14人が登録され、昨年度の6人を上回りました。

参加者からは「広告の表示について知らなかったことも多く勉強になりました」「消費者として広告やCMは鵜呑みにしないことを強く感じた」「優良誤認と有利誤認の具体例および判断条件が明確に判るようになった点は非常に良かった」などの感想が寄せられました。

また、インターネット広告の監視は9月度1,004件を検索・点検し、不当表示と思われる内容について担当弁護士の精査結果を踏まえ10月7日に埼玉県へ報告する予定です。

4.今後の課題

- ①第2回フォローアップ研修、交流会の実施
- ②第2回全体研修、交流会日程の確定と講師選定
- ③10月・11月度市町村訪問計画の確定と訪問推進
- ④2020年度受託事業計画(案)・概算予算計画(案)について県との調整

2019 年 9 月 20 日
埼玉消費者被害をなく
す会事務局

日時：2019 年 9 月 20 日（金）14：00～17：45

場所：埼玉県生活協同組合連合会 会議室

参加者：野村慎治 川島譲 守屋惇史（消費者庁）

吉川尚彦 清水勤 田中瑞恵（なくす会） ※敬称略

はじめに

年度終了ごとに消費者庁に対して消費者契約法第 31 条に掲げる書類の提出が求められています。具体的には、役職員名簿、財務諸表、経理、資金（寄付金）等、調査報告書などであり、消費者庁のホームページに掲載されています。その報告書類に対する実態調査を 9 月 20 日に受けて、消費者庁から改善等の指摘を受けたため報告をします。

1. 主な改善事項（番号は消費者庁からの質問、⇒はなくす会回答、◎は改善内容）

① 事業報告書の翌事業年度における収入の見込みとその算出根拠のうち、「被害回復手続に係る収入見込み」についての算出根拠を示すように求められた。

⇒被害回復訴訟を提起し受任した場合の収入は前例がないため、算出根拠はありません。概算で 100 万円程度の収入が見込めるとの判断です。

◎明確な算出根拠があって収入の見込みとすべきなので、2019 年度予算からは削除し、修正予算を立てる。今後は、具体的な事案から、被害金額、事業者の資力、被害人数等を把握し予測をたてながら、綿密なシミュレーションをたてて見込みを打ち出すようにすること。

② 事業報告書の翌事業年度における収入の見込みとその算出根拠のうち、「管理費」について、特定適格消費者団体の認定時支出見込（2 年目 204 千円）から大幅に増加（11,116 千円）している根拠を示すように求められた。

⇒特定適格消費者団体の認定時支出見込金額、204 千円の正確な根拠を示すことができなかった。

◎204 千円について、再度調査し報告することとなった。

③ 2018 年度事業別損益決算における収益事業のうち、消費者庁受託事業（消費者被害の実態調査）の収支が赤字（▲211,697 円）になった要因について説明を求められた。

⇒事務局人件費及び賃借料を管理費 20%で事業実施可能と判断していた。しかし人件費においては、経理実務等で想定以上に費用が増えたことで、トータルの管理費が増額してしまった。

◎受託事業における人件費は管理費ではなく、事業費に計上する。県受託事業のように複数事業がある場合、これまで管理費として一括計上していたものを、按分の考え方と別表を作成し、それぞれの事業の事業費に計上する。

④ 役職員の職業（兼職）について、変更の有無をどのように把握しているのか示すように求められた。

⇒2 年の更新時または該当者から変更時に都度報告を受けている。

◎その方法だと洩れる可能性が多分にあり、その報告を消費者庁がよく受ける。変更が

ありしだい、遅滞なく報告してもらいたい。理事会や検討委員会の開始時に毎回確認するという方法もある。速やかに（2週間程度）改善すること。

2. その他修正事項

- ・ 会議室の見取り図と使用承諾書のコピーを消費者庁に送る
- ・ 活動計算書の注記（事業ごとの収支）は、受託事業を別表にせず、一覧とする
- ・ 第4回5回理事会報告書の参加人数の記載を修正する
- ・ 帳簿書類における寄付を受けた場合の記載内容を修正する

3. 消費者庁からの連絡待ち事項

- ・ 埼玉県受託事業の見守り統括員の報酬の有無の記載について、消費者庁が持ち帰り、後日記載方法についてお示しがある。

第 40 回九都県市合同防災訓練(埼玉県会場)報告

埼玉県生活協同組合連合会

8月31日(土)に第40回九都県市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市)合同防災訓練(埼玉県会場)が「和光市役所周辺」を中央会場に市内各所で行なわれました。当日は、東京湾北部を震源とするM7.3の地震が発生し、和光市内で震度6強の揺れを観測、県南西部を中心に甚大な被害が発生しているとの想定のもと、住民活動訓練、救出救助訓練、災害時医療訓練、ライフライン復旧訓練、緊急救援物資輸送訓練、避難所開設・運営訓練、災害ボランティアセンター開設・運営訓練など、実践的な訓練が実施されました。

■埼玉県との「基本協定」にもとづき21回目の参加

埼玉県と埼玉県生協連、コープみらいが締結している「基本協定」「物資協定」にもとづき、今回で21回目の参加となりました。大野元裕県知事や県議会関係、和光市長、市議会関係の皆さんをはじめ、消防本部、県警、医療、社協など約130機関・団体、約8,000人が参加しました。埼玉県生協連と各生協は、防災フェアでの企画に役職員15人が参加し、埼玉の生協を広くアピールすることができました。(参加生協…コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたま、コープデリ連合会、労済生協)



飲料・菓子等配布訓練



握力チェック(医療生協さいたま)



防災クイズ(コープみらい)

■訓練内容：防災フェア

1. 応急生活物資配布訓練として、パルシステム埼玉提供の飲料「キャロっとさん」、生活クラブ生協提供の菓子「サクサクスナック」、労済生協提供のウェットティッシュを350人に配布しました。
2. 医療生協さいたまは、握力チェックを行い、130人が参加しました。
3. コープみらいは「防災」に関する身近なクイズをおこない、260人が参加しました。クイズに答えた方には、ミックスナッツを差し上げました。クイズは、家庭での防災意識を高めるもので、展示したローリングストックで備蓄する商品の紹介も好評でした。



2019 コヨット in 埼玉実施報告

2019年9月25日
埼玉県生活協同組合連合会

1. 実施概要

- (1) 開催目的：東日本大震災で被災された福島「子どもの心と成長」と「お母さんの心のケア」を大切にしながら保護者の気持ちに寄り添い、子どもと保護者の心身両面からの保養を目的として開催
- (2) 日時：9月14日(土)～15日(日)
- (3) 場所：ムーミンバレーパーク(14日)、鉄道博物館(15日)
ニューサンピア埼玉おごせ(宿泊)
- (4) 参加者：13組30人(保護者13人、小学2年生～6年生17人)
- (5) 共催：埼玉県生活協同組合連合会・埼玉県ユニセフ協会
- (6) 協力：ボーイスカウト埼玉県連盟、
- (7) スタッフ：ボーイスカウト埼玉県連盟1人、埼玉県ユニセフ協会4人
生協スタッフ9人

2. 内容

【1日目 9月14日(土)】

福島駅(7:00)及び郡山駅(8:00)から、保護者と子どもたち13組30人は迎えのスタッフ3人とともに埼玉県に向けて出発し、途中パーキングエリアで昼食をとりながら、12時40分頃ムーミンバレーパークに約5時間30分かけて到着しました。道中のバス車内では、ボーイスカウトの泉田さんによるゲームやクイズで盛り上がり、参加者同士交流しました。

ムーミンバレーパーク到着時は小雨模様でしたが、参加者の熱気で途中から日差しが射してきました。人気のアトラクション「ムーミン屋敷ツアー」には参加者全員が体験し、ムーミンたちが住んでいるような部屋にわくわくが止まらないお母さんや子ども達がいきました。また、他のアトラクションを体験したり、ムーミンと写真をとったり、ショップで買い物したりと思い思いに楽しみました。



ニューサンピア埼玉おごせに移動し夕食後19時30分から、埼玉県ユニセフ協会による「貿易ゲーム」を子ども4チーム、おとな3チーム対抗で実施しました。このゲームは、紙でお金になる製品をつくり売り買いするのですが、グループごとに資金や紙、はさみ、定規など製品を作成する道具に差が設けられています。そして与えられた資源を活かしていかにお金を増やすか、夢中になって他のグループと競い合いました。お母さんが子どもに借金やはさみを借りるお願いしても冷たく断られたり、親子というよりも商売人同士という雰囲気で大変盛り上がりました。このゲームを通して、先進国と発展途上国の不平等と格差や貿易の仕組みについて学びました。



【2日目 9月15日(日)】

2日目は、鉄道博物館で館内のさまざまな車両や展示を見学したり、買い物を楽しみました。人気の「運転士体験」には子ども達に参加し、一人ひとりがディスプレイ付きの運転台を使ったシミュレータで加速減速、ブレーキなど、歓声を上げながら運転体験しました。昼食後、それぞれが「参加してしあわせだなあと感じた瞬間」と題して感想を書き、親子で感想を掲げて記念写真を撮り、二日間のプログラムは終了しました。14時過ぎ、13組30人は埼玉の地を離れ、思い出を胸に帰途につきました。



3、参加者感想

参加してしあわせだなあと感じた瞬間

参加して「しあわせだなあ」と

かん しゅんかん

感じた瞬間

色々予約していただき、スムーズに申し込みましたこと。
ムーミンマゼといっしょに写真を撮れたこと。
お土産ができて、とても楽しそーにしゃべってる
みんなの姿が見られて嬉しかったです。様子は
お気づきありがとうございます!!

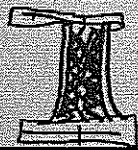
2019/09/26
コヨット!

参加して「しあわせだなあ」と

かん しゅんかん

感じた瞬間

ムーミンパークで
アスレチックをしたこと



2019/09/26
コヨット!

参加して「しあわせだなあ」と

かん しゅんかん

感じた瞬間

2019/09/26

色々な物が欲しい時に、欲しいだけ手に入ること。
あたり前の生活がどなただけあったことか...
世界に目を向けると、今、自分があかっている現状が
どなただけ恵まれている幸せなのかも痛感していた。
みなさんには感謝させて頂きありがとうございます。



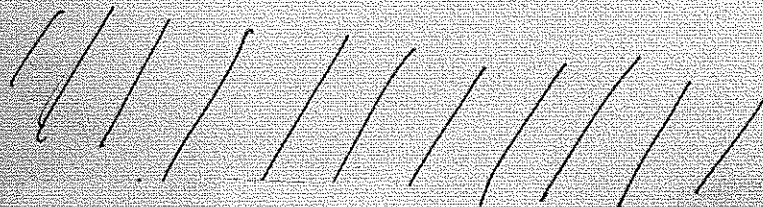
参加して「しあわせだなあ」と

かん しゅんかん

感じた瞬間

4

① ぬーミンパークやてつどうはくがづんに行けたこと
② 広いふろに入れたこと。



2019/09/26

2019 年度「体験稲刈り & 田んぼの生きもの調査」報告

2019 年 9 月 14 日 埼玉県生活協同組合連合会

1. 実施概要

日時	2019年9月14日(土) 10時00分～13時30分
会場	杉戸町高野農村センター及び隣接の草地
参加者	16家族56人
主催	全国農業協同組合連合会埼玉県本部・埼玉県生活協同組合連合会
後援	杉戸町・埼玉みずほ農業協同組合

2. 実施内容

10時より参加者と主催・後援団体の皆さんで開会式を行いました。主催者を代表してJA 全農さいたま大畑副本部長、埼玉県生協連の吉川会長が挨拶を行いました。その後、後援いただいた杉戸町の古谷町長と、地元の JA 埼玉みずほ宮城組合長から挨拶をいただきました。



開会式に続き、田んぼの生き物調査について、講師の林さんから注意事項の説明があり、田んぼでの調査を開始しました。参加者が捕まえてきた生き物を講師の林さんが確認しながら、解説を行っていきました。その中では、本来は西日本に生息しているはずのカエルが、関東地方でも増えてきている現状など、生態系の変化についても触れられました。その後、参加者は生産者の指導のもと、稲刈り体験を行いました。昼食時には、生産者からお米作りの大切さ、大変さについてお話をいただきました。



3. 参加者の感想(抜粋)

- 子ども達に貴重な体験をさせることができました。こうした機会を多く提供いただけるとありがたいです。
- 生産者が苦勞して育てたお米をいただいていることを実感しました。

第 12 回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告

2019 年 9 月 4 日連絡会事務局

日時	2019 年 9 月 4 日(水) 15 時 00 分～ 埼玉県生協連 1 階会議室
参加団体	埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)、埼玉県生活協同組合連合会、原水爆禁止埼玉県協議会、埼玉県平和運動センター、埼玉のうたごえ協議会、医療生協さいたま・埼玉県民医連、埼玉県労働組合連合会(7 団体 10 人)

1. 田中代表から開会に先立ち、全国の状況や全国交流会の報告も含めて、あいさつがありました。内容は次のとおりです。
現在、全国連絡会の中では役割ごとにグループをつくって、それぞれが検討し運営委員会に持ち寄っています。グローバルグループでは、国内の動きだけでなく国際的な動きをつくっています。埼玉県でもどのような動きが作れるのか、検討していきましょう。
2. 5/29 に開催した第 11 回連絡会の報告を事務局から行いました。
3. 首長の賛同状況(県知事はじめ 61 首長)について確認をおこないました。新しい大野県知事への対応については、しらさぎ会が担当課に依頼して面談を計画しているので、その際に、あらためて県知事として署名をお願いする方向を確認しました。その他首長については、引き続き対応を行うことも確認しました。
4. 前回に引き続き、ヒバクシャ国際署名をひろげるための取り組みのすすめ方について意見交換を行いました。出た意見の抜粋は次とおりです。
 - 高校生が描いた原爆の絵の展示とセットで被爆体験を聞ける場づくりと署名をセットする。
 - コミュニティカフェ、ファーストフードのお店、スーパーのイートインコーナーなどで被爆体験を聞く会を行う。
 - フェイスブックなどの SNS の活用を進める。
 - 大学生協の学生委員に働きかけて、一緒に行動する。
 - 京都で実施した「ヒバクシャと出会えるカフェ」を埼玉でも実施してはどうか。
⇒埼玉連絡会でも実施の方向で調整することを確認しました。
5. 次回までに調整する事項として「ヒバクシャと出会えるカフェ」を各団体が実施できるように、定型プログラム化することになりました。事務局としらさぎ会で検討を行います。
6. 次回日程

11 月 6 日(水) 15:00～埼玉県生協連・会議室

埼玉県委託事業 県内消費者団体全体研修会報告

2019年8月27日 埼玉県消費者団体連絡会事務局

8月27日(火)、埼玉県内の消費者団体間の交流を促進し、団体の活動に関する相互理解と研鑽を深めるとともに、団体の活動を活性化することにより、消費者利益の向上を図ることを目的とする埼玉県委託事業「県内消費者団体全体研修会」を、埼玉会館ラウンジで開催し、16 消費者団体 66 人と初めて公募した一般 16 人、計 82 人が参加しました。午前中は「コミュニケーションスキルアップ」についてグループで楽しく学び、午後は 48 人が日頃の活動について交流しました。

日時 2019年8月27日(金) 10時30分～15時

会場 埼玉会館ラウンジ

参加者 16 団体 66 人、一般 16 人 計 82 人

上尾市消費者被害防止サポーターの会、伊奈町くらしの会、行田市くらしの会、久喜市くらしの会、埼玉県西部地区消費者団体活動推進世話人会、さいたま市消費者団体連絡会、志木市くらしの会、白岡市くらしの会、埼玉県地域婦人会連合会、新日本婦人の会埼玉県本部、埼玉県生活協同組合連合会、埼玉母親大会連絡会、埼玉消費者被害をなくす会、生活協同組合コープみらい、医療生協さいたま生活協同組合、埼玉県消費者団体連絡会

1. コミュニケーションスキルアップ講座

NP0 法人ハンズオン埼玉の川田虎男さん、西川正さんを講師に迎えて、6 人のグループを基本に、どんな時に話をちゃんと聞いてもらえたと感じるかなどを実感しながら、会議や話し合いについて考え合いました。「こんな会議は、いやだなあ」のお題には、事例を書く手が止まらず、グループでの共有の場面では共感の声飛び交いました。よい会議のためにできる工夫として、うなずく、質問する、ホワイトボードなどに書く等、学びました。会議の場面だけでなく、日頃のコミュニケーションを振り返る場にもなりました。



2. 活動交流

午後は、48 人が 6 つのグループに分かれて、午前中の講座の感想を交流し、次に各団体のいいところ報告として、日頃の活動交流を行いました。また、各団体がメンバーを増やすための呼びかけなど、工夫していることを交流し、最後に、グループで話し合ったことを報告して閉会しました。今回、初めて消費者団体だけでなく一般に広報し、16 人が参加しました。



埼玉県生協連 2019 年度第 1 回活動委員会

日時 2019 年 8 月 22 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分
場所 埼玉県生協連会議室
出席 大久保 (委員長)、境・本多 (コープみらい)、佐藤・石川 (パルシステム埼玉)、
下川・金津 (生活クラブ)、高橋・牛渡 [代理・村崎] (医療生協さいたま)、塩崎
(労済生協) [代理・中山]、荒井 (東都生協)
埼玉県生協連: 吉川会長理事、事務局＝加藤・清水桂・清水勤・青木
オブザーバー: 大田 (日本生協連中央地連) 下線欠席／敬称略

■議題

I. 話したいこと

1. 埼玉県生協連活動委員会委員長の選任について報告を行いました。
2. 委員の自己紹介を行うとともに、SDGs を題材としたスゴロクゲームを体験しました。
3. 次の内容について、意見交換・交流を行いました。
 - (1) ヘルスチャレンジ 2019 の進め方について意見交換を行いました。全国での取り組み事例を報告するとともに、各生協で実施していることについて交流しました。
 - (2) 2019 彩の国食と農林業ドリームフェスタ出展について意見交換を行いました。展示の関する事項を明確にした概要書を出展生協に送付することを確認しました。
 - (3) 7/3 開催「第 1 回組合員学習会」の報告とふりかえりを行うとともに、11/21 役職員研修会、12/12 組合員活動交流会概要について意見交換を行いました。
4. 各生協から 6-8 月活動報告書をもとに報告を行いました。

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

大田さんから、日生協・中央地連の報告や各種企画の呼びかけが報告されました。

III. 確認したいこと

1. 福島の子ども保養プロジェクト (コヨット) 進捗状況の報告を行いました。
2. NPT 再検討会議への被爆者参加を支援する募金への協力について報告を行いました。
3. 第 55 回埼玉県消費者大会周知、運営スタッフ派遣の要請を中心に進捗状況の報告を行いました。

IV. 報告したいこと

1. 業務報告として、埼玉県生協連 7 月度のまとめと今後の課題の報告を行いました。
2. 個別報告として、次の項目について報告を行いました。
 - (1) 8/31 開催 第 40 回九都県市防災訓練について
 - (2) 10/11 開催 3 都県連共催「福祉事業公開学習会」について
 - (3) 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式報告
 - (4) 2019 平和のための埼玉の戦争展報告
 - (5) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会署名活動報告

V. 報告したいこと 文書報告

文書報告として次の報告を行いました。埼玉県生協連 2018 年第 6 回活動委員会 (5/30) 報告、埼玉県生協連第 7 回理事会 (6/20) 報告、第 48 回埼玉県生協連通常総会報告、活動日誌と予定

最後に、次回の活動委員会日程を確認して終了しました。次回の第 2 回活動委員会は、10 月 17 日 (木) 13 時 30 分～16 時の予定です。

埼玉県生活協同組合連合会第2回理事会報告

1. 日時・会場 2019年9月12日(木) 15時00分～16時40分 埼玉県生協連・会議室
2. 出席者
(出席理事) 理事総数15人中10人出席、監事総数3人中3人
吉川理事、大久保理事、大山理事、境理事、横山理事、長妻理事、土屋理事、後藤理事、吉田理事
河本理事、高藤監事、奥野監事、佐々木監事
議長 大久保理事 書記 加藤
なお、議決事項終了後、15時25分に土屋理事が退席しました。

《交流事項》通常総代会・総会に関する交流

出席された各会員生協より、通常総代会・総会について報告し、交流を行いました。

■議題

I. 議決事項

- 第1号議案 活動委員会委員長および災害対策委員会委員長ならびに大学部会長選任の件
大久保議長が、活動委員会規則第4条、災害対策委員会規則第4条、大学部会規則第4条にもとづいて、活動委員会委員長に大久保美紀常務理事、災害対策委員会委員長に笹沼文晴氏、大学部会部会長に河本健太郎理事の選任を議場に諮ったところ全員異議なく議決されました。
なお、吉川会長理事より、理事会における選任時期について、監事会からも指摘を受けており、次年度の機関会議の持ち方も含めて検討する旨の発言がありました。

II. 報告事項 次のことを吉川会長より報告し、確認しました。

1. 専務理事報告

- (1) 埼玉県生協連8月度のまとめと今後の課題
- (2) 埼玉県生協連理事(埼玉労済生協)の退任と今後について
- (3) 2019年度第3回理事会の時間変更について
- (4) 2020年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望
- (5) 2019年度第1回埼玉県との定期協議報告
- (6) 埼玉県から埼玉県生協連への委託事業の件
- (7) 11/21、埼玉県生協連役職員研修会(埼玉県委託事業)のご案内
- (8) 埼玉県生協連諸規定類の見直しの進め方について
- (9) NPT再検討会議への被爆者参加を支援する募金への協力について
- (10) コープみらいフェスタ2019inさいたまスーパーアリーナ名義後援の件

2. 個別報告 次のことを埼玉県生協連の各担当職員より報告し、確認しました。

ヘルスチャレンジ2019のすすめ方について、2019年度埼玉県生協連学習会等日程およびテーマ、12/12、組合員活動交流会ご案内、10/11開催 3都県連共催「福祉事業公開学習会」について
第55回埼玉県消費者大会関連、2019コヨット in 埼玉の進行状況報告、7/28第34回埼玉県原爆死没者慰霊式報告、8/31九都県市防災訓練

3. 文書報告 次のことを大久保議長より、事前通知事項として報告し、確認しました。

第48回埼玉県生協連通常総会報告、第1回災害対策委員会(7/25)開催、第1回活動委員会報告、埼玉県生協連活動日誌

IV. 監事会関連 次のことを高藤監事より、報告し確認しました。

1. 第1回(6/20)、第2回監事会(9/3)報告、2019年度監査計画

次回 第3回理事会 11月21日(木) 10時～ 埼玉県生協連会議室

活動委員会用 単協組織・事業活動報告書（県生協連行き）

生協名	
報告者	

____ 月度

1. 組織活動報告

(1) 主な組合員活動等（ ____ 月 ____ 日～ ____ 月 ____ 日）

月日	会議・催事など	参加人数・活動内容・特徴など

(2) 社会貢献やCSR活動等

--

月日	会議・催事など	活動内容・予定人数等

月度（人）			4月からの累計（人）			当月度末 組合員数
加入	脱退	純増	加入	脱退	純増	

班数		サークル数	
専門委員会数(本部)		グループ数	
支部・運営委員会数		支部・運営員数	

月 度		4 月 以 前 累 計	
事 業 高	前 年 比	事 業 高	前 年 比
千 円	%	千 円	%